

総会企画VTRにご登場頂いた同窓女性のご紹介



S31卒 小木曾詢子さん(SF翻訳者)
息子さんのSF好きの影響で40歳から勉強して50歳で初本を出すに至ったという小木曾さんは、実は小説家を目指す英語の先生でした。いろんな出会いが実を結んでの翻訳者というお仕事、応援したくなりますね。



昭和38年卒 井上孝代さん(心理学教授、カウンセラー)
大学院まで修めたものの子育てのためにキャリアを中断、苦勞しながら少しずつ復職して大学の副学長、様々な企業のカウンセラーをも務められています。生涯キャリアを持つことの大切さを語ってくださいました。



昭和54年卒 工藤和美さん(建築家)
建築家を目指す人たちの憧れの存在であり、学校や図書館などの建築物が数々の賞を受賞。女性らしさを大切にしながら世界から評価されるお仕事を成し遂げられています。



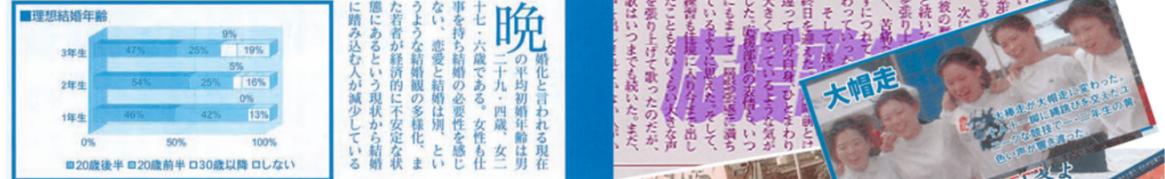
昭和58年卒 薬師寺道代さん(参議院議員)
医師としての経験、大学での研究職や講演活動、そして政治の世界へ。いつも自分しかできないことにこだわってこられました。修猷館で培った熱いマインドを胸に駆け回っていらっしゃいます



平成元年卒 肥山詠美子さん(理論物理学者、理化学研究所准主任)
昨年猿橋賞を受賞された有望な物理学者の素顔は、好きな物理をひたむきに追求し、その面白さ、魅力を伝えたい思いでいっぱいの一途な女性でした。修猷館の物理の授業が原点です。



平成4年卒 森啓子さん(日本財団)
価値あるNPO活動に経済的支援をする日本財団のお仕事に携わり、いつも明るい未来を創ることばかり考えていらっしゃいます。太陽みたいな人、という噂がびつたりの素敵な女性です。



Concept of Marriage

何クラスかで行ったアンケート調査より、様々な結婚観を聞くことができました。その中からいくつかピックアップしたものをここに掲載しています。

「あなたの結婚観は・・・？」
お互い何でも話せて、理解しあうことが大事だと思う。
☆経済的に安定するために結婚するものだと思う。
☆自分が親から本当に離れる。
☆結婚が全てではないけど好きな人とは結婚したい！
☆結婚は経済的にも精神的にも安定を得られると思ふ。けれど「逃げ」のために結婚すると後悔すると思う。
☆恋と結婚は別モノ。
☆結婚とは一緒に生きていく仲間を作り、二人の子どもを育てることによってかけがえのない財産を手に入れられることだと思います。
☆互い何でも話せて、理解しあうことが大事だと思う。
☆結婚とは恋愛の最終形態である。

教科ランキング(1人1コマで限る)

好きな教科	嫌いな教科	得意な教科	苦手な教科
1位 体育(204)	1位 現代文(90)	1位 数学(191)	1位 英語(119)
2位 数学(106)	2位 物理(116)	2位 英語(87)	2位 英語(109)
3位 世界史(91)	3位 現代文・英語(78)	3位 数学(85)	3位 化学(109)

修猷新聞 Neo

放課後は... 高校生の放課後は多種多様。パターン別に分類してみました。(校内限定)

- パターン① 部活に燃える。文武両道がモットー... 友情を深める。
- パターン② 部活外 友達と遊ぶ。部活帰って勉強する人も多い。テスト前になるとどのクラスも、完全下校。
- パターン③ 部活外 友達と遊ぶ。部活帰って勉強する人も多い。テスト前になるとどのクラスも、完全下校。

共学三年間の体験から

男子に多い反対
男女の融和はクラブ活動で
「共学廃止は再準備につながる」
共学を賞識 せめ共学に

「修猷女子道」
平成26年(2014)6月13日発行
企画 平成26年度東京修猷会総会実行委員会
制作 昭和63年卒 新聞部OG(I、P、Q)

修猷新聞

男女共学問題を衝く

早ければ明年度から 學區制の設置と共に

男女共学問題が、全国の高校で大きな話題となっている。修猷新聞は、この問題を衝き、男女共学の是非を論じてきた。早ければ明年度から、學區制の設置と共に、男女共学が実現する可能性がある。修猷新聞は、この機運を捉え、男女共学の是非を論じてきた。早ければ明年度から、學區制の設置と共に、男女共学が実現する可能性がある。

民主教育の確立へ

教育は国民の手で
七日着工
先導
民権

女子道

修猷生を叱る
近すぎない修猷生
知られぬ女生徒の存在

依然さめぬ エスト熱

女子は相変わらず「乙女雑誌」
女子参加で「乙女雑誌」の発行が再開された。内容は、乙女の生活、恋愛、ファッションなど。人気がある。

女子道

女子道
女子道
女子道

女子道

女子道
女子道
女子道